

# 第 6 学年 外国語活動学習指導案

薩摩川内市立可愛小学校

平成 21 年 9 月 16 日 (水)

男子 16 名 女子 18 名 計 34 名

指導者 JTE 田島 育子

## 1 単元名 行ってみたい国を紹介しよう

### 2 単元について

#### (1) 単元の位置とねらい

この期の子どもたちは、これまでに「自己紹介をしよう」や「好きなスポーツを言おう」などの活動を通して、英語に慣れ親しんだり、英語を使って会話を楽しんだりしたいという願いを持つようになってきている。また、HRTやGT, ALT, 友だちとコミュニケーションを図る中で、目的や相手、その場の状況を意識しながら自分が伝えたいことを表現しようとする大切さに気づくようになってきている。

そこで、本単元では、世界の国々の国名、国旗や名物などについて知り、日本と諸外国の違いや、それぞれのよさについて考えを深め、自分が行ってみたい国を伝え合うという活動を通して、英語で積極的にコミュニケーションを図ろうとする意欲を高めることをねらいとしている。また、いろいろな国でいろいろな英語が話されているという現状に対する理解や各国の言語や文化についての興味・関心も深めていきたい。

この学習は、さらに、世界には時差があることを知ったり、自分の 1 日の生活を紹介したりする学習へと発展するものである。

#### (2) 指導の基本的な立場

子どもたちにとって、行ってみたい国やその理由を考えることは、その国の言語や文化について詳しく知りたいという思いや、いろいろな国の人と関わりを持ってみたいという意欲を高めることにつながる。しかし、その中で、「外国の様子を実際に見てみたい。」「英語で話ができるかな。」という期待や不安が同時に生じてくることも考えられる。そこで、世界の国々のことを調べる中で、その国に行ってみたいという意欲を喚起させるとともに、その思いを英語で伝え合うことの喜びを味わわせていきたい。

具体的には、まず、日本語と英語での国名の言い方の違いに気づかせながら、リズムに合わせて発音したり、国旗に着目させたクイズやゲームを経験させたりしながら、世界の国々への興味・関心を引き出していきたい。また、それらの国々の代表的な食べ物や人物、動物、建築物などを調べることで、さらに、その国に行きたい理由が明確化され、自分の思いを伝えたいという意欲に結び付くであろうと思われる。

単元の終わりのほうに、行きたい国やその理由を伝え合うゲーム活動を位置づけることは、自分の知っている英語を使って思いを伝えられたという喜びや、友だちの思いを聞き取れたという喜びにつながり、今後のコミュニケーションへの積極性に大いに役立つことであろう。

#### (3) 子どもの実態 (平成 21 年 8 月 21 日実施 対象者: 6 年 1 組児童 33 人)

##### 1 外国語活動への興味・関心 (選択)

とても楽しい (5) 楽しい (16) あまり楽しくない (10) 楽しくない (2)

外国語活動が「楽しい」と思う理由 複数選択可

- ・ クイズやゲームが楽しいから (19)
- ・ みんなといっしょに学べるから (5)
- ・ GT や ALT の英語を聞けるから (4)
- ・ 歌やチャンツが楽しいから (1)
- ・ GT や ALT と英語で話せるから (0)

外国語活動が「楽しくない」と思う理由 複数選択可

- ・ 英語の意味がよくわからないから (9)
- ・ 色々なことを覚えられないから (8)
- ・ 英語で会話ができないから (6)
- ・ 発音がわからないから (4)

## 2 本単元への興味及び既習経験（複数選択可）

### （ア）行ってみたい国

- ・アメリカ（ 18 ）      ・フランス（ 13 ）      ・イタリア（ 10 ）      ・オーストラリア（ 8 ）
- ・エジプト（ 6 ）      ・ガーナ（ 6 ）      ・イギリス（ 6 ）      ・韓国（ 6 ）
- ・カナダ（ 5 ）      ・インド（ 4 ）      ・ドイツ（ 3 ）      ・ブラジル（ 2 ）
- ・中国（ 1 ）      ・ロシア（ 1 ）      ・インドネシア（ 1 ）

### （イ）その国のことで知っていること

- ・代表的な食べ物（ 14 ）      ・有名な人（ 11 ）      ・国旗の色やデザイン（ 10 ）
- ・盛んなスポーツ（ 8 ）      ・有名な自然や建築物（ 7 ）      ・代表的な動物（ 7 ）
- ・首都（ 5 ）      ・有名な都市（ 3 ）

## 3 英語で話したいとき、その言い方が分からないときの対応（複数選択可）

- ・ジェスチャーで伝える（ 15 ）      ・日本語でたずねる（ 13 ）      ・絵をかいて見せる（ 9 ）
- ・知っている日本語を使う（ 4 ）      ・辞書で調べる（ 3 ）

## 4 「英語ノート」への興味・関心（選択）

分かりやすい（ 27 ）

（理由）

- ・絵がたくさんあって分かりやすい（ 18 ）      ・説明が分かりやすい（ 3 ）
- ・文字が大きくて分かりやすい（ 2 ）      ・ゲームがあって楽しそう（ 2 ）
- ・日本語が書いてある（ 1 ）      ・ゆっくり進んでいって長く同じところを学べる（ 1 ）

分かりにくい（ 6 ）

（理由）

- ・あまり日本語が書いていなくて意味がよくわからない（ 5 ）
- ・たくさんありすぎる（ 1 ）

### （考察）

本学級の子どもたちは、外国語活動を楽しんでいる子が多いが、同時にあまり楽しく感じていない子もいることが分かる。楽しいと感じている子は、クイズやゲームの楽しさやみんなと一緒に学べる喜びなどを理由にあげ、楽しくないと感じている子は、英語の意味がわからないことや色々なことを覚えなければならない、会話ができないことなどを理由にあげている。

そこで、みんなで一緒に楽しめるクイズやゲームを取り入れていくことはもちろん、スピーチの中でどんな言葉が聞き取れたかを、絵やカードを示しながら内容をわかりやすく確認していくことで自分にも理解できたという喜びを感じさせたい。また、「覚えなければならない。」という観念を捨て、英語は言葉であり、上手に話せなくても相手に通じればいいのだということを理解させ、間違ってもいいから英語を使おうとする積極性を育てていきたい。

本単元への興味・既習経験については、行ってみたい国は欧米諸国が多く、その国の代表的な食べ物や有名な人、国旗の色やデザインなどの情報を得ていることが分かる。そこで、英語と日本語における国名の音声の違いに気付かせたり、国旗や国の名物に関するクイズやゲームをしたりすることで、各国への興味・関心を高めていきたい。自分が行ってみたい国や理由を伝え合うまでの過程においては、スキットやスピーチを聞かせる中で、自分の思いや考えが伝わるように英語を使って表現したいという目的意識を持たせるようにしたい。また、基本的な表現をリズムチャンツやゲームを通して友だちと楽しみながら発音することで、英語での表現に対する自信を持たせていきたい。

英語の言い方が分からない時の対応策は、ジェスチャーで伝えたり、日本語でたずねたり、絵をかいて見せたりなど、自分なりの方法で解決していこうとする意欲があることが分かる。このことをふまえ、JTE や友だちと一緒に表現を考えたり、尋ね合ったり、教え合ったりする場を設定していき、周りの人と積極的に関わっていけるように支援していきたい。

「英語ノート」への興味・関心については、多くの子どもたちが「英語ノートは分かりやすい」と感じていることから、絵やゲームなどを有効に活用するとともに、子どもたちが気楽に英語を聞いたり話したりできるような学習活動を工夫していかなければならないと思う。

(4) 指導に当たって

「つかむ」過程では、各国への興味・関心を高めるために、国名や国旗の特色を表す英語に慣れ親しませるためのリズムチャンツ、クイズやゲームなどの活動を中心に展開していきたい。また、世界には様々な英語があることにも触れるようにする。

「見通す」過程では、行きたい国の理由づけとなる代表的な食べ物や人物、動物、建築物などを表す英語に慣れ親しむためのリズムチャンツ、クイズやゲームなどの活動を行い、行きたい国とその理由を関連付けていきたい。

「広げる」過程では、行きたい国とその理由を伝え合う場面を設定し、それらを聞き取ったり、「I Want to go to ~ .」「I like ~ .」などの表現を用いたゲーム活動を行ったりすることで、行きたい国とその理由を考えさせるようにしたい。

「生かす・ふり返る」過程では、自分の行きたい国を実際に考え、「I like ~ .」などの表現から、友だちに自分の行きたい国を当ててもらうゲームを取り入れたい。そのことで、自分の思いを友だちに伝えられた、友だちの思いを聞き取れたという喜びを味わわせ、今後の外国語活動における表現力への自信を持たせるようにしたい。

3 目標

ア 英語の国名や国の名物などの言い方に興味を持ち、日本語との違いを通して、多様なものの見方や考え方、言葉の面白さや豊かさに気付いたり、世界にはいろいろな英語が話されていたりすることを理解する。（言語や文化についての体験的な理解）

イ 世界のいろいろな国のことを表す英語の語彙や基本表現を用いたゲームなどを楽しみながら、友だちに聞いたり話したりすることを通して、コミュニケーションを図る楽しさを体験する。（積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度）

ウ 国名や国旗、国の名物などを表す語彙や、行きたい国とその理由を聞いたり答えたりする基本表現に慣れ親しむ。（外国語の音声や基本的な表現への慣れ親しみ）

4 指導計画（全4時間）

過程	主な学習活動	時間	教師の具体的な働きかけ
つかむ	1 世界には様々な英語があることを知る。 （英語ノート P3 6 の CD） 2 国名や国旗に関するクイズやゲームをする。（英語ノート P3 7 の CD） ・国当てクイズ（国旗から） ・Missing クイズ      ・Keyword Game ・国旗ビンゴゲーム 3 リズムチャンツをする。 （英語ノート P3 6 の CD）	1	英語を使って伝え合おうという意識を持つことの大切さに気づかせる。 出てきた国を地図上で確認させる。 クイズやゲームは、聞くことを中心にしたものから行い、世界の国々への興味・関心を高めていく。Keyword Game は、国名のリズムチャンツに合わせて行うようにする。 行きたい国をイタリアと設定してリズムチャンツを行う。 日本語の音声との違いに気づかせる。
見通す	1 国の名物に関するクイズやゲームをする。（英語ノート P7 5 巻末絵カード） ・カード並べゲーム、名物ビンゴゲーム 2 行きたい国と理由を線で結ぶ。 （英語ノート P3 9 の CD） 3 国と理由を関連付けるクイズをする。 ・国当てクイズ（国の名物から） 4 リズムチャンツをする。	1	巻末絵カードを切り取らせ、活用させる。 ゲームをしながら、国の名物を表す語彙を教師と一緒に発音させる。 行きたい国の理由を考える時に、その国の代表的な建築物や食べ物、動物などが手がかりになることに気づかせる。  英語ノート P3 6 のチャンツをもとに他の国のチャンツを考えさせる。

<p>広 げ る</p> <p>本 時</p>	<p>1 前時のリズムチャンツの復習をする。</p> <p>2 教師の行ってみたい国についてのスキットを見聞きする。</p> <p>3 行きたい国やその理由に関するスピーチを聞く。(英語ノート P40 の CD)</p> <p>4 行ってみたい国やその理由を表す表現を用いたゲームをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ カードマッチゲーム</li> <li>ゲーム (グループ活動)</li> <li>ゲーム (ペア活動)</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ I want to go to ~ .</li> <li>・ I like ~ .</li> </ul>	<p>1</p> <p>行ってみたい国やその理由を述べる会話表現に慣れ親しませる。</p> <p>ゲームで使う「I want to go to ~。」 「I like ~ .」などの表現に慣れ親しませる。 教師の行きたい国やその理由について質問する。</p> <p>スピーチから分かったことを英語ノートに書かせる。</p> <p>国旗絵カードや理由となる絵を見せながら話の内容を確かめる。</p> <p>国旗とその国の名物を関連づけたゲームをすることで、行ってみたい国名だけでなく、その理由を考えさせる。</p> <p>言い方がわからない時には、知っている語彙だけを使ったり、友だちや教師に尋ねたりしてもよいことを告げる。</p>
<p>生 か す ・ ふ り 返 る</p>	<p>1 リズムチャンツをする。</p> <p>2 教師の行ってみたい国とその理由を述べるスピーチを聞く。</p> <p>3 自分の行ってみたい国やその理由を表す表現を用いたゲームをする。(グループ活動)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ I like ~ .</li> <li>・ What country?</li> <li>・ Yes, I want to go to ~ .</li> </ul> <p>4 各自がどんな国に行きたがっているのかを確認し合う。</p> <p>5 全体で、国当てクイズをする。</p>	<p>1</p> <p>いくつかの国のリズムチャンツをし、行ってみたい国やその理由を述べる会話表現に慣れ親しませる。</p> <p>事前に、自分の行きたい国やその理由を考えておく。</p> <p>国名だけでなく、その国に行きたい理由を述べるのが自分の思いをより深く伝えるのだということを意識させる。</p> <p>全体場で、教師が質問をしながら確かめ合う。</p> <p>教師の「I like ~ .」などの表現から国名を当てさせる。</p>

## 5 本時 ( 3 / 4 )

### ( 1 ) 目標

ア 英語の国名や国の名物などの言い方に興味を持ち、それらを聞いたり話したりすることで、言語や文化に対する体験的な理解を深め、言葉の大切さや豊かさに気付く。(言語や文化についての体験的な理解)

イ 行ってみたい国やその理由についてのスピーチを積極的に聞き、相手の意図をつかもうとしたり、基本的な表現を用いたゲームを友達と協力し合いながら楽しもうとしたりする。(積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度)

ウ 行きたい国の名前や理由を、聞いたり答えたりする英語の表現に慣れ親しむ。(外国語の音声や基本的な表現への慣れ親しみ)

( 2 ) 本時の展開にあたって

「つかむ・見通す」過程では、リズムチャンツや教師のスキットを行い、行きたい国名や理由を表す英語の表現に慣れ親しめるとともに本時の学習への見通しを持たせる。

「広げる」過程では、英語ノート P4 1 の 3 人の子どもたちのスピーチ (CD) を聞き、分かったことを発表させながら、絵カードなどを提示し、具体的に内容を確認していくようにする。

「生かす」過程では、行きたい国とその理由を表す表現「I want to go to ~ .」「I like ~ .」を用いたゲームを行うことで、国名だけでなく理由を考えさせるようにする。

「ふり返る」過程では、本時の学習を振り返るだけでなく、次時までに、自分の行きたい国とその理由を考えておくように伝える。

( 3 ) 実際

過程	主な学習活動	時間 ( 分 )	教師の具体的な働きかけ ( 評価 )
つかむ・見通す	<p>1 あいさつをする。 Let's begin the class . Hello , sensei . I'm fine/sleepy/hungry , thank you . And you?</p> <p>2 リズムチャンツを言う。 ・ Italy</p> <p>3 教師のスキットを見聞きする。</p> <p>4 本時のめあてを知る。 行きたい国の名前やその理由を、聞いた り答えたりしながら、楽しく活動しよう。</p>	10	<p>授業の始まりを意識づけるように、元気よくあいさつをする。 Hello , everyone . How are you?  I'm fine/sleepy/hungry , thank you .</p> <p>前時の学習を想起させ、絵カードを見せながら、国のリズムチャンツに挑戦させる。 日本語との音声の違いを感じながら、楽しくリズムにのって発音しようとしていたか。</p> <p>国名や理由を答える言い方「I want to go to ~ .」「I like ~ .」などを聞かせる。 スキットを見聞きさせた後、行きたい国やその理由についての質問をする。</p> <p>行きたい国の名前だけでなく、なぜ行きたいのか、その理由も考えることを確認する。</p>
広げる	<p>5 CD を聞いて、わかったことを英語ノートに書く。( 英語ノート P4 0 の CD ) ・ China ・ America ・ Korea</p>	15	<p>スピーチの内容に関連したことを子どもたちに質問しながら、絵カードなどを提示し、具体的に内容を確認していく。また、スピーチの場合、「Hello .」や「Thank you .」の言葉を使っていることにも気づかせる。 行きたい国やその理由に関するスピーチを積極的に聞き、内容を理解しようとしていたか。</p>

生 か す	<p>6 行きたい国とその理由を表す表現を用いたゲームをする。</p> <p>・カードマッチゲーム ゲーム（グループ活動） ゲーム（ペア活動）</p> <p>I want to go to ~ . I like ~ .</p>	1 5	<p>ゲーム はグループ活動。「I want to go to ~」を使って、国旗カードを合わせるゲームをさせる。ゲーム はペア活動。「I want to go to ~」と「I like ~」などを使って会話を楽しみながら国旗と名物カードを合わせるゲームをさせる。</p> <p>自分の思いをより深く伝えるためには、理由を表すコメントを述べるのが大切だということを意識させる。</p> <p>うまく言えない場合には、自分の知っている語彙だけを使ったり、友だちや教師に尋ねたりさせる。</p> <div data-bbox="938 627 1525 790" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>行きたい国やその理由を表す表現を用いたゲームを積極的に楽しみ、周りの人とのコミュニケーションを図ろうとしていたか。</p> </div>
ふ り か え る	<p>7 本時の学習を振り返る。</p> <p>8 次時の予告を聞く。</p> <p>9 終わりのあいさつをする。 Thank you , sensei . Good-bye . See you .</p>	5	<p>本時の感想を発表させる。</p> <p>子どもたちの英語を使おうとする態度面など良かったところを具体的に述べる。</p> <div data-bbox="949 938 1513 1021" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>本時の学習を振り返り、積極的に感想を述べようとしていたか。</p> </div> <p>自分の行きたい国とその理由を考えておくように告げる。</p> <p>次時でどんなことをしたいかなどの質問をし、次時への意欲を高める。</p> <p>子どもたちの活動ぶりを称賛する。 You did a good job ! Thank you . Good-bye . See you .</p>

#### （４） 評価

ア 英語の国名や国の名物などの言い方に興味を持ち、それらを聞いたり話したりすることで、言語や文化に対する体験的な理解を深め、言葉の大切さや豊かさに気付こうとしたか。（言語や文化についての体験的な理解）

イ 行ってみたい国やその理由についてのスピーチを積極的に聞き、相手の意図をつかもうとしたり、基本的な表現を用いたゲームを友達と協力し合いながら楽しもうとしたりしたか。（積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度）

ウ 行きたい国の名前や理由を、聞いたり答えたりする英語の表現に慣れ親しもうとしたか。（外国語の音声や基本的な表現への慣れ親しみ）